

いわちゃん ポスト

岩井やすのりの県政かわら版

千葉県議会議員



岩井やすのり

プロフィール 1970年生まれ 48歳 2期目現職(無所属)
早稲田大学大学院 政治学研究科修了

全盲の視覚障害者を両親に持ち、障害者の困窮する生活ぶりを多く目の当たりにしてきた事が、政治を目指すきっかけに。

事務所連絡先 TEL: 0476-36-7799

HP: <http://www.iwai-y.jp> メール: mail@iwai-y.jp

印旛郡栄町安食台 2-26-23(栄町役場前大山ビル 2F)

事業用太陽光発電 設置ガイドラインの策定を要望

栄町や印西市内でも設置が進む、事業用太陽光発電施設。住宅地に隣接した場所では、景観や安全に対する不安等から住民と事業者間のトラブルが少なくなく、県として設置ガイドラインを設ける等の対策が求められます。

●太陽光発電施設の設置 関係法令なく許可も不要

2012年にスタートした固定価格買取制度(FIT)とは、太陽光などの再生可能エネルギーを用いて発電された電気を、電気事業者が一定価格で買い取ることを義務付けた制度です。制度導入当初、1kwあたり40円と売電価格が極めて高額であったこと等から、事業者や個人による参入数が飛躍的に増加。昨年度末時点の全国の太陽光発電設備導入件数は、10kw以上で51万8千件、10kw未満では117万9千件超に上っています。

ところで、建築物や特定工作物の建設にあたっては、予めの開発許可の取得が求められています。すなわち、住居家屋はもちろん、運動場やテニスコート、墓園等の特定工作物を建設する場合にも許可の取得が必要となるのです。一方、太陽光発電施設の設置に関しては関係法令が整備されておらず、どれほど大規模な施設であったとしても、設置許可を受ける必要がありません。結果、

太陽光発電設備導入件数(H30年3月末時点)

	10kW未満		10kW以上			
	自家発電設備併設		50kW未満	50kW以上500kW未満	500kW以上	
栄町	271	10	89	85	2	2
印西市	1,631	289	601	554	21	26
千葉県	54,599	3,689	23,475	22,208	599	668
全国計	1,179,211	90,948	518,260	492,150	14,597	11,513

資源エネルギー庁HPIによる

ある日突然、住宅地に隣接した敷地に太陽光パネルなどが設置される等して、住民と事業者との間でトラブルとなる事例が後を絶たないのです。

●栄町・安食新田の設置計画 農業委員会が不許可相当

9月栄町議会においても、地元の橋本町議から安食前新田地区の太陽光発電施設の問題が取り上げられたばかりです。本年6月に町農業委員会に農地転用の許可申請が提出された同施設の設置計画は、住宅地に極めて接した場所でのもの。住民からは反射光による気温上昇や目など体調への影響、変圧器による騒音の発生などを懸念する声が多く上がっており、同発電施設設置に反対する嘆願書が町に提出される事態に。町農業委員会もこれらの動きを重視し、近隣住民への説明が不十分であるとして、県に不許可相当との意見書の提出に至っているのです。

●茨城県ガイドライン「設置するのに適当でないエリア」

問題は、千葉県ではこれら事業用太陽光発電施設の設置が野放し状態にあることです。

例えば、お隣の茨城県が28年に策定した太陽光発電施設に関するガイドラインでは、「設置するのに適当でないエリア」を明示した他、事業計画書を提出した上での市町村との事前協議、地域住民への説明責任、事業終了後の撤去・廃棄などについても触れており、事業者側と地域住民側との調整を図っています。

岩井は9月県議会にてこの問題を取り上げ、一定規模以上の太陽光発電施設を設置する場合の地域住民への事前説明の義務付けや、地域との関係構築に係る手続きの具体化など、県ガイドラインの策定を強く要望。奇しくも、同県議会にて「太陽光発電施設に係る法整備を求める意見書」が可決されたばかりであり、県議会と一体となって、この問題にあたってまいります。

小林駅南口ロータリー 移転問題で完成見通し立たず

昨年4月より南口自由通路が供用開始となった JR 小林駅。用地取得が進まない駅前ロータリー（駅前広場）については、依然として完成の見通しがつかない一方、県は市の要望を受け、年度内に駅周辺道路（県道バイパス）の一部を開通させることとしています。



●バス・タクシー乗り場など 2,300 m²の駅前広場

25 年度に着手となった JR 小林駅南口の整備事業は、駅利用者の安全性を確保し、交通利便性の向上を図るとして、バス・タクシー乗り場などを備えた 2,300 m²の駅前広場を設けるといいます。

橋上駅舎や北口エスカレーターは 27 年の供用開始とほぼ計画通りでしたが、県道（旧道）をまたぐ南口自由通路（エスカレーター、エレベーター等）は 29 年 4 月と約 2 年遅れ。さらに南口駅前ロータリーは未だ完成の見通しが立っておらず、「工事はどうなっているのか？」と地元住民から疑問の声が上がります。

●「移転されては困る」医療機関 調整が難航

駅前広場の整備が進まないのは、既存施設の移転調整がつかず、事業主である市が用地を取得できていないからです。

駅前ロータリーの整備予定地にそもそもあった 2 つの

建物のうち、「ショッピングセンター・ジョビア」は 29 年に閉店しているところですが、もう一方のテナントの借主である医療機関はその移転先が見つかっておらず、同地にて診療を続けています。医療機関ゆえ公共性が高い上に「移転されては困る」との声が根強く、まして強制立ち退きを迫れるようなケースでもありません。市としては相手方に定期的、継続的に働きかけを行っているとしつつ、その適切な移転先が見つかるまで調整を続けるしか手立てがないと言います。

この問題について「いわちゃんポスト 90 号」でお伝えしてから 1 年半以上経ちますが、以来何らの進展がなく、駅前広場の完成時期は見当がつかない状況が続きます。

●市の要望受け、駅前バイパスは年度内開通見込み

ところで、地元住民の方からは「最近、工事が始まりましたよね？」との声が聞かれるようになってきました。確かに、小林駅南口では重機を用いた作業の様子が見受けられるところですが。

確認したところ、これは小林駅南口から南西方向に進める 470m の県道印西印旛線バイパス事業のうち、先行開通を図る 170m 区間の工事であるとのこと。本来は、南口駅前広場の完成と同時に開通させるところ、当分の間の完成が見込めないことから、印西市が県に先行着工を要望したものです。なお、同駅前バイパスの 170m 区間は今年度内に開通の見通しとなっています。



小林駅南口ロータリー

